

平成17年12月からの雪崩等災害発生状況

これは速報であり、数値等は今後変わることもある。

雪崩等災害の発生状況(平成18年1月10日 14時00分現在)

都道府県名	発生災害	発生件数	人的被害			住家被害			集落雪崩
			死者	行方不明	負傷者	全壊流出	半壊	一部破損	
北海道	雪崩	2							1
岩手県	雪崩	1							
秋田県	雪崩	2							
山形県	雪崩	1							
	地すべり	1							
福島県	雪崩	2							
新潟県	雪崩	12			12			1	5
	地すべり	1						1	
長野県	雪崩	2			2				1
岐阜県	雪崩	3						1	2
滋賀県	雪崩	1							
福井県	雪崩	5							
	合計	33			14			3	9

詳細については確認中であり変わる事もある。

雪崩及び積雪地域における土砂災害について記載
道路にかかる雪崩を含む

雪崩 31件
(うち、集落雪崩(住家周辺の雪崩)9件)
地すべり 2件

雪崩危険箇所

豪雪地帯対策特別措置法により指定された豪雪地帯で、雪崩の被害想定区域内(右図参照)に、人家5戸以上(5戸未満であっても官公署、学校、病院、災害時要援護者施設、駅、旅館等のある場合を含む)ある箇所(雪崩危険箇所()とは、人家1戸~4戸の箇所)



砂防関係の取り組み

砂防部保全課において「雪崩災害警戒体制」をとって、情報収集等を継続中

・雪崩防災情報を砂防部ホームページ(下記アドレス)に掲載

関係機関への要請

・10月25日 雪崩危険箇所の周知・点検、警戒・避難訓練、雪崩防災に係る広報活動等を実施するよう通知(雪崩防災週間(12月1~7日)の実施にあたっての通知)

・12月5日 雪崩災害を含めた災害報告の徹底について通知

・12月22日 雪崩災害に対する警戒と災害報告の徹底について、注意喚起文書を発出

1月10日(独)土木研究所雪崩・地すべり研究センター所長を派遣し、新潟県津南町や長野県栄村等を中心に、北陸地方整備局と新潟県・長野県が連携してヘリコプターによる積雪状況調査を行うことを決定

砂防部ホームページ(雪崩防災情報を掲載中)

<http://www.mlit.go.jp/river/sabo/>

平成17年12月からの雪崩等災害発生状況【速報版】

Snow Avalanche Disasters

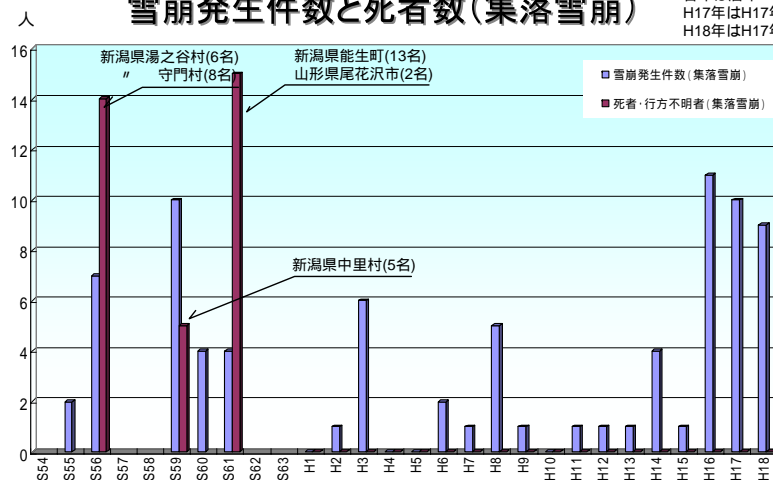
【国土交通省 砂防部 H18.1.10】

砂防部調べ

雪崩:31件 道路にかかる雪崩を含む
うち、集落雪崩(住家周辺の雪崩):9件
地すべり:2件 負傷者 14人、家屋一部損壊 3戸

雪崩発生件数と死者数(集落雪崩)

各年は暦年
H17年はH17年1月~H17年4月
H18年はH17年12月~H18年1月



くじょうしたかさちょうおおわし
《岐阜県郡上市高鷲町大鷲》

雪崩被害箇所の概要

10道県において31件の雪崩等災害が発生
(18. 1. 10現在)



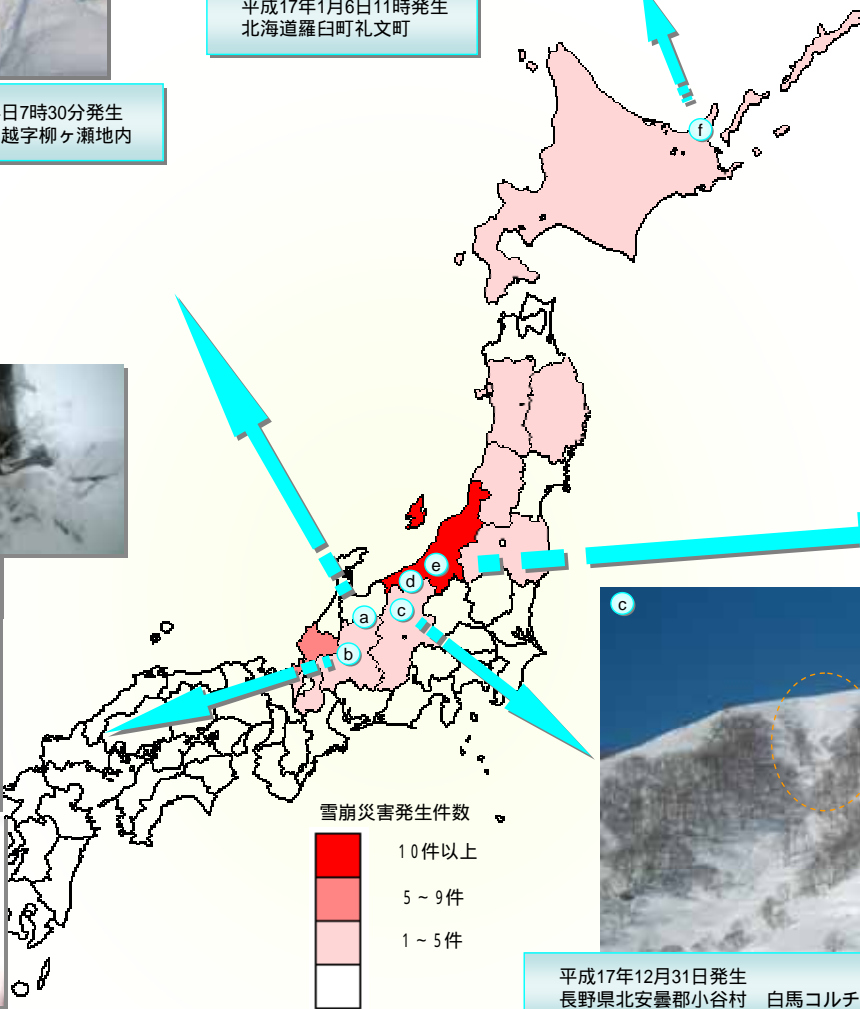
平成17年12月24日7時30分発生
岐阜県飛騨市稲越字柳ヶ瀬地内



平成17年12月5日発生
岐阜県郡上市高鷲町大鷲



平成17年1月6日11時発生
北海道羅臼町礼文町

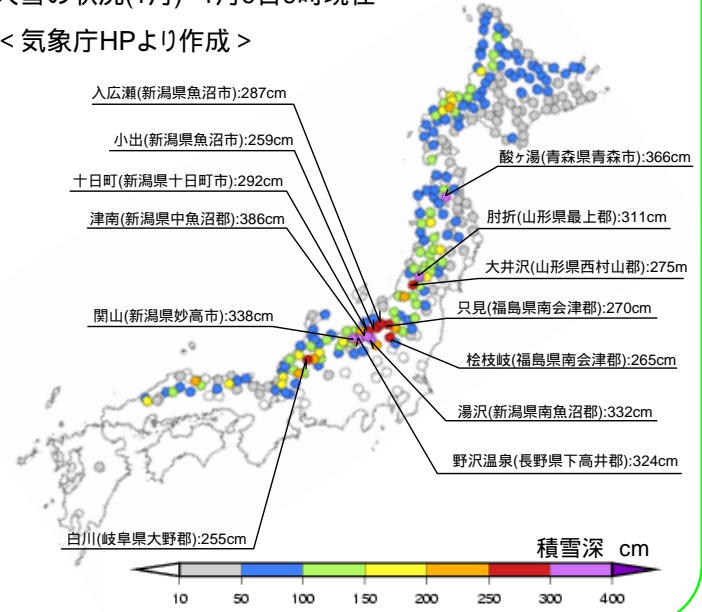


平成17年12月31日発生
長野県北安曇郡小谷村 白馬コルチナスキー場



平成17年12月31日発生
長野県北安曇郡小谷村 白馬コルチナスキー場

大雪の状況(1月) 1月9日9時現在
< 気象庁HPより作成 >



平成18年1月5日発生
新潟県十日町市浅河原地区



平成18年1月3日発生
新潟県妙高市燕温泉地区

平成17年12月からの雪崩等災害発生状況

これは速報であり、数値等は今後変わることもある。

雪崩等災害の発生状況(平成18年1月10日14時00分現在)

都道府県名	発生災害	発生 件数	人的被害			住家被害			災害発生箇所	被害状況等	集 落 雪 崩	発生日時	危険箇所
			死者	行方 不明	負傷者	全壊 流出	半壊	一部 破損					
北海道	雪崩	2							目梨郡羅臼町	道道(知床公園羅臼線)へ流出		1月3日15時30分頃	
									目梨郡羅臼町 礼文町	雪崩により物置ガラス2枚破損	1	1月5日11時頃	雪崩危険箇所()
岩手県	雪崩	1						雫石町橋場	国道46号へ流出。車3台は雪崩手前で停止。けが人等なし。		1月4日11時05分頃		
秋田県	雪崩	2							北秋田郡上小阿仁村 南沢	国道285号へ流出。車3台巻き込まれ。4名自力脱出。けが人なし。		1月4日22時45分頃	
									北秋田市阿仁前田	県道(福館阿仁田線)へ流出。車1台巻き込まれ。けが人なし。		1月4日21時20分頃	
山形県	雪崩	1						最上郡真室川町差首鍋	国道344号へ流出		12月31日13時30分頃		
	地すべり	1						鶴岡市旧温海町 鷹ヶ坂地区	県道にかかる斜面上に滑落崖を発見		12月27日15時頃覚知	地すべり危険箇所	
福島県	雪崩	2							南会津郡舘岩村大字穴原	国道352号へ流出。車1台巻き込まれ。1名自力脱出。けが人なし。		1月3日19時00分頃	
									南会津郡南郷村大字東	国道289号へ流出。車2台が巻き込まれたが排雪し救助。けが人なし。(近接2箇所雪崩発生)		1月3日20時00分頃	
新潟県	雪崩	12							中魚沼郡津南町前倉	国道405号へ流出。通行車両1台巻き込まれ		12月24日9:30	
									十日町市伊達内 土市地区	市道へ流出	1	12月24日9:00	雪崩危険箇所()
									十日町市八箇 孕石地区	集落内道路へ流出。近くに住家なし。		12月24日9:30	
									南魚沼郡湯沢町土樽	魚野川を越えて県道約200m埋塞(河道閉塞は無し)		12月28日8:20	
					3				南魚沼郡湯沢町土樽	ルーツ湯沢スキー場で従業員4名雪崩に巻き込まれる	1	1月3日10:45	雪崩危険箇所()
					9				南魚沼郡湯沢町三国	苗場スキー場リフト降り場付近で雪崩発生従業員3名と客6名がけ		1月3日17:20	
									南魚沼郡湯沢町湯沢	GALA湯沢スキー場で客2名が雪崩に巻き込まれるがけが人なし		1月3日15:40	
									南魚沼郡湯沢町火打～南魚沼郡湯沢町三保	国道17号へ流出(近接3箇所雪崩発生)		1月3日17:45～1月4日1:30	
									妙高市燕	雪崩により旅館窓ガラス2枚破損	1	1月3日15:00	雪崩危険箇所()
									十日町市 西浅河原地区	雪崩により倉庫が一部損壊	1	1月5日17:00	雪崩危険箇所()
									南魚沼郡湯沢町土樽(関越自動車道)	関越道へ流出。流出した雪に乗り上げた車両に後続車両が追突。けが人なし		1月8日11:00頃	
	新潟県	地すべり	1						糸魚川市和泉	自宅裏に流出。1戸(1名)自主避難	1	1月6日14:30頃	
								1	東蒲原郡阿賀町 五十島地区	地すべりに伴う倒木による被害		12月22日15時頃	地すべり危険箇所

平成17年12月からの雪崩等災害発生状況

これは速報であり、数値等は今後変わることもある。

雪崩等災害の発生状況(平成18年1月10日14時00分現在)

都道府県名	発生災害	発生 件数	人的被害			住家被害			災害発生箇所	被害状況等	集 落 雪 崩	発生日時	危険箇所		
			死者	行方 不明	負傷者	全壊 流出	半壊	一部 破損							
長野県	雪崩	2			1				北安曇郡小谷村千国乙	白馬コルチ国際スキー場ゲレンデ外の雪崩危険箇所を点検中1名雪崩に巻き込まれ重傷	1	12月31日7:50	雪崩危険箇所 ()		
					1					松本市上高地	明神岳の上宮川谷で登山客2名が雪崩に巻き込まれ、1名が心肺停止の状態		1月3日9:00頃		
岐阜県	雪崩	3						1	郡上市高鷲町大鷹 向鷲見	用水路に雪が溜まって雪崩発生	1	12月5日9:30			
										大野郡白川村牧～高山市荘川町牧戸	国道156号へ流出(近接3箇所雪崩発生)		12月22日12時頃～14時頃		
										飛騨市河合町稲越 柳ヶ瀬	擁壁(急傾斜施設)が雪崩を捕捉	1	12月24日7:30	雪崩危険箇所 ()	
滋賀県	雪崩	1							伊香郡余呉町椿坂	国道365号へ流出		12月14日 20:30			
福井県	雪崩	5								大野市下山	国道158号へ流出。通行車両1台巻き込まれ		12月20日7:20		
											大野市箱ヶ瀬	国道158号へ流出		12月22日 12:30	
											大野市長野	国道158号へ流出。橋梁が横に約90cmずれ。		12月24日9:10	
											勝山市北谷町東山	国道157号へ流出		12月23日 12:20	
											越前市中居	国道417号へ流出、通行車両1台埋まる		12月29日 22:15	
	合計	33			14			3			9				

詳細については確認中であり変わる事もある。

情報は地方整備局等及び道府県からの情報に基づく。

雪崩及び積雪地域における土砂災害について記載

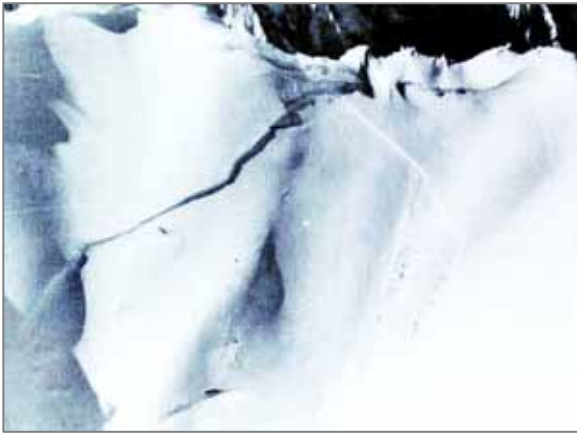
雪崩 31件
(うち、集落雪崩(住家周辺の雪崩) 9件)
地すべり 2件

雪崩とは

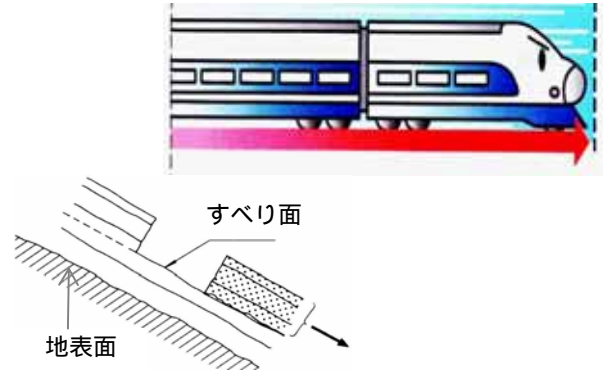
雪崩とは、斜面に積もった雪が、重力の作用により下方に滑り落ちる現象です。

表層雪崩

表層雪崩は、すべり面が積雪内部にあり、気温が低く、降雪が続く時期、すなわち1、2月頃の厳寒期に多く発生します。



表層雪崩のスピード 時速100～200km

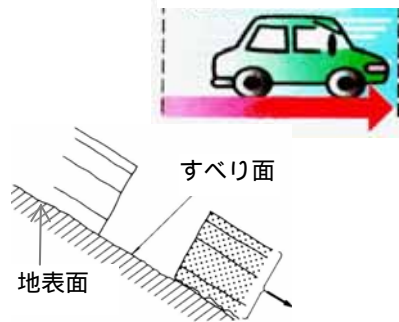


全層雪崩

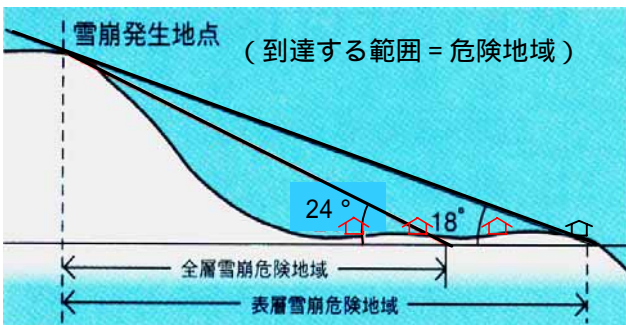
全層雪崩は、すべり面が地表面にあり、春先の融雪期など気温が上昇した時に多く発生します。



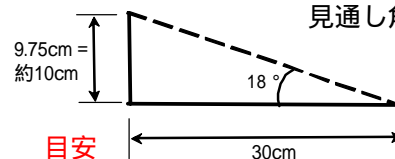
全層雪崩のスピード 時速40～80km



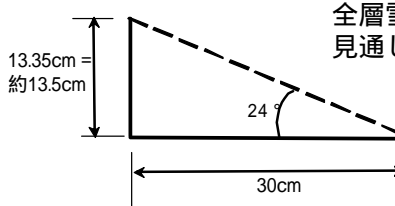
雪崩が到達するといわれている範囲



表層雪崩の到達範囲
見通し角18度まで



全層雪崩の到達範囲
見通し角24度まで



雪崩の発生しやすいところ

急な斜面

斜面勾配30度以上

雪崩が発生しやすくなります

斜面勾配35度～45度

最も危険です

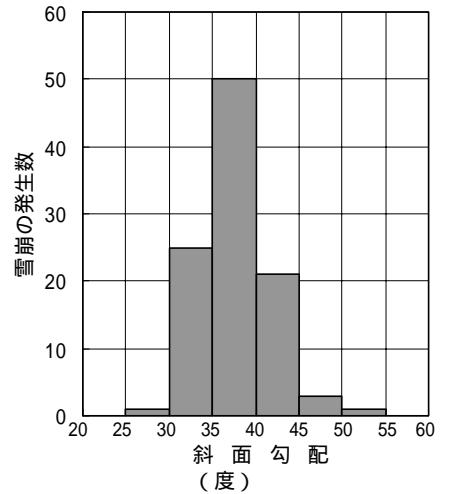
雪崩発生事例が多い

斜面勾配55度以上

発生しにくいですが注意が必要です

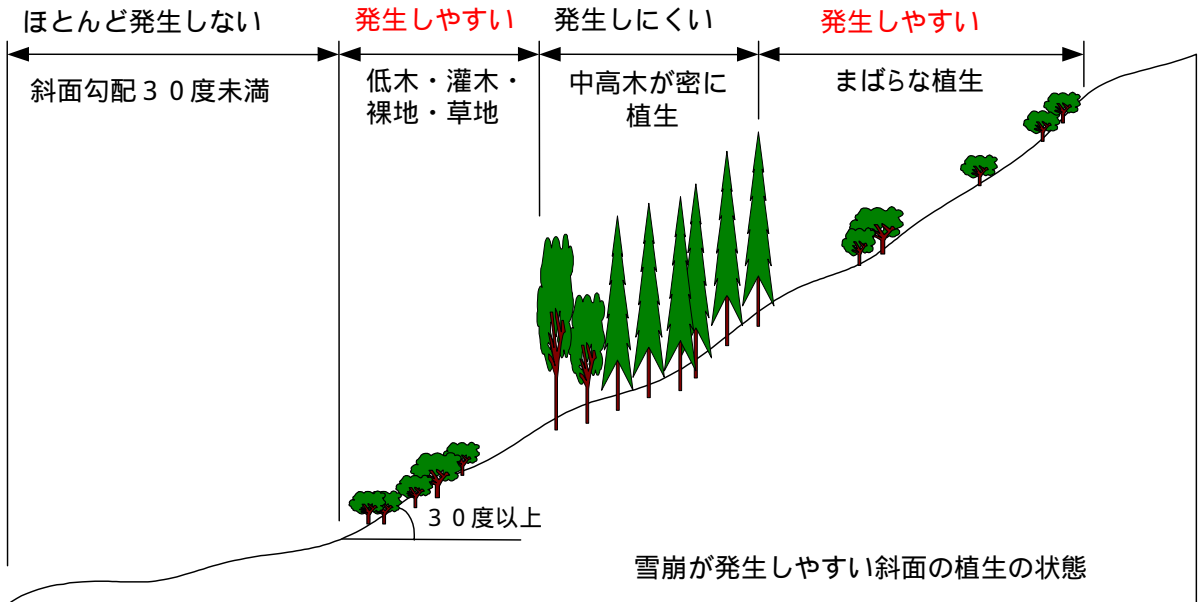
雪が積もりにくいですが、その下の斜面に吹きだまりが出来やすくなるので注意

雪崩が発生しやすい斜面勾配



低木林や、まばらな植生

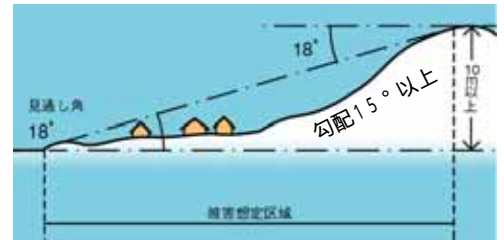
低木林や、まばらな植生の斜面では雪崩発生危険が高くなります。ササや草に覆われた斜面は裸地よりも危険です。



全国の雪崩危険箇所

雪崩危険箇所

豪雪地帯対策特別措置法により指定された豪雪地帯で、雪崩の被害想定区域内(右図参照)に、人家5戸以上(5戸未満であっても官公署、学校、病院、災害時要援護者施設、駅、旅館等のある場合を含む)ある箇所(雪崩危険箇所())とは、人家1戸～4戸の箇所)



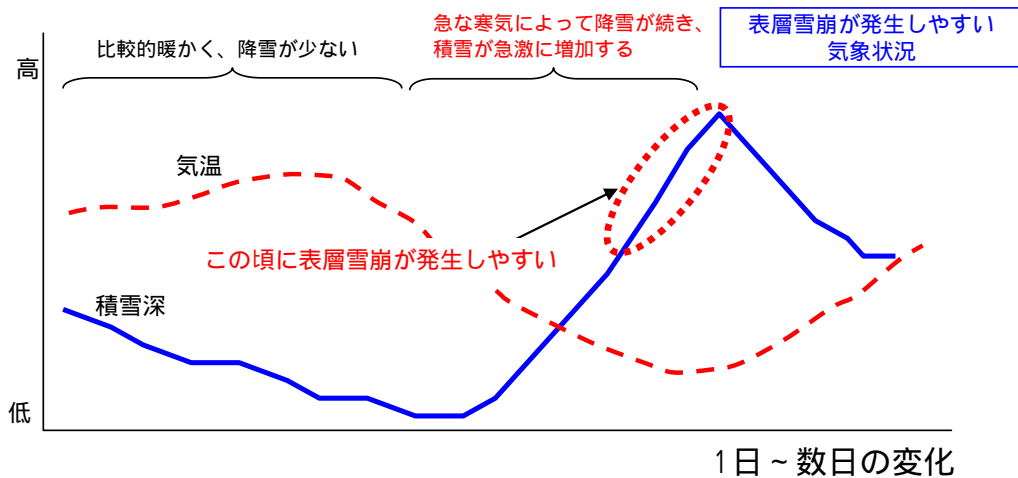
道府県名	危険箇所数
北海道	2,536
青森	1,003
岩手	177
宮城	175
秋田	1,630
山形	935
福島	187
栃木	209
群馬	450
新潟	1,484
富山	907
石川	1,203
福井	1,318
山梨	86
長野	1,292
岐阜	1,630
静岡	59
滋賀	346
京都	687
兵庫	1,314
鳥取	1,316
島根	525
岡山	696
広島	336
合計	20,501

雪崩の発生しやすい時

斜面に雪があればいつでも雪崩発生の危険があります。
次のような徴候があった時は、**嚴重な注意**が必要です。

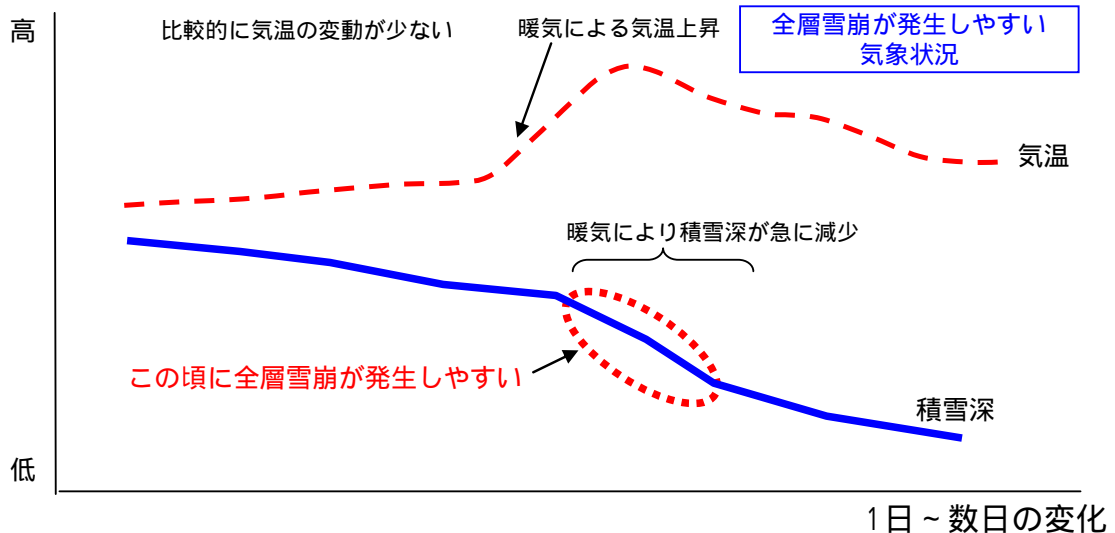
表層雪崩

- 気温が低く、積雪深が大きく降雪の多いとき
- すでにある積雪上に短期間で多量の降雪があった場合
(特に1m程度以上の積雪がある時に30cm程度以上の降雪があった時など)
- 0 以下の気温が続き、吹雪や強風が伴う場合
- 雪庇(せっぴ)や吹溜りが斜面に出来ているとき
- 35度~45度の急斜面で、積雪面から顔を出すような樹木が少ない場所



全層雪崩

- 春先や降雨後、フェーン現象などにより気温が上昇したとき
- 斜面に雪しわ、ひび、こぶが出来て、徐々に大きくなる場合 (特に危険)
- 斜面の勾配が35度~45度で樹木が無く、地肌が露出している場合



柵口(ませぐち)地区雪崩災害

にしきびきぐん のうまち

(新潟県西頸城郡能生町 昭和61年1月21日)

集落背後にそそり立つ権現岳で発生した表層崩壊は、沢に沿って約2km先の集落を襲い、死者13名、負傷者9名、民家10戸全半壊の大惨事となった。

